

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2012年9月30日 聖日礼拝

---

エペソ書連講 (26)

「『奴隷』として仕える」

エペソ書6章5－9節

竿代照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### エペソ人への手紙6章5-9節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp348/ 第三版の聖書はp380～

- 5 奴隷たちよ。あなたがたは、キリストに従うように、恐れおののいて真心から地上の主人に従いなさい。
- 6 人のごきげんとりのような、うわべだけの仕え方でなく、キリストのしもべとして、心から神のみこころを行い、
- 7 人にではなく、主に仕えるように、善意をもって仕えなさい。

- 8 良いことを行えば、奴隷であっても自由人であっても、それぞれその報いを主から受けることをあなたがたは知っています。
- 9 主人たちよ。あなたがたも、奴隷に対して同じようにふるまいなさい。おどすことはやめなさい。あなたがたは、彼らとあなたがたとの主が天におられ、主は人を差別されることがないことを知っているのですから。



# 主テキスト:

ひと しゅ つか  
「人ではなく、主に仕えるように、

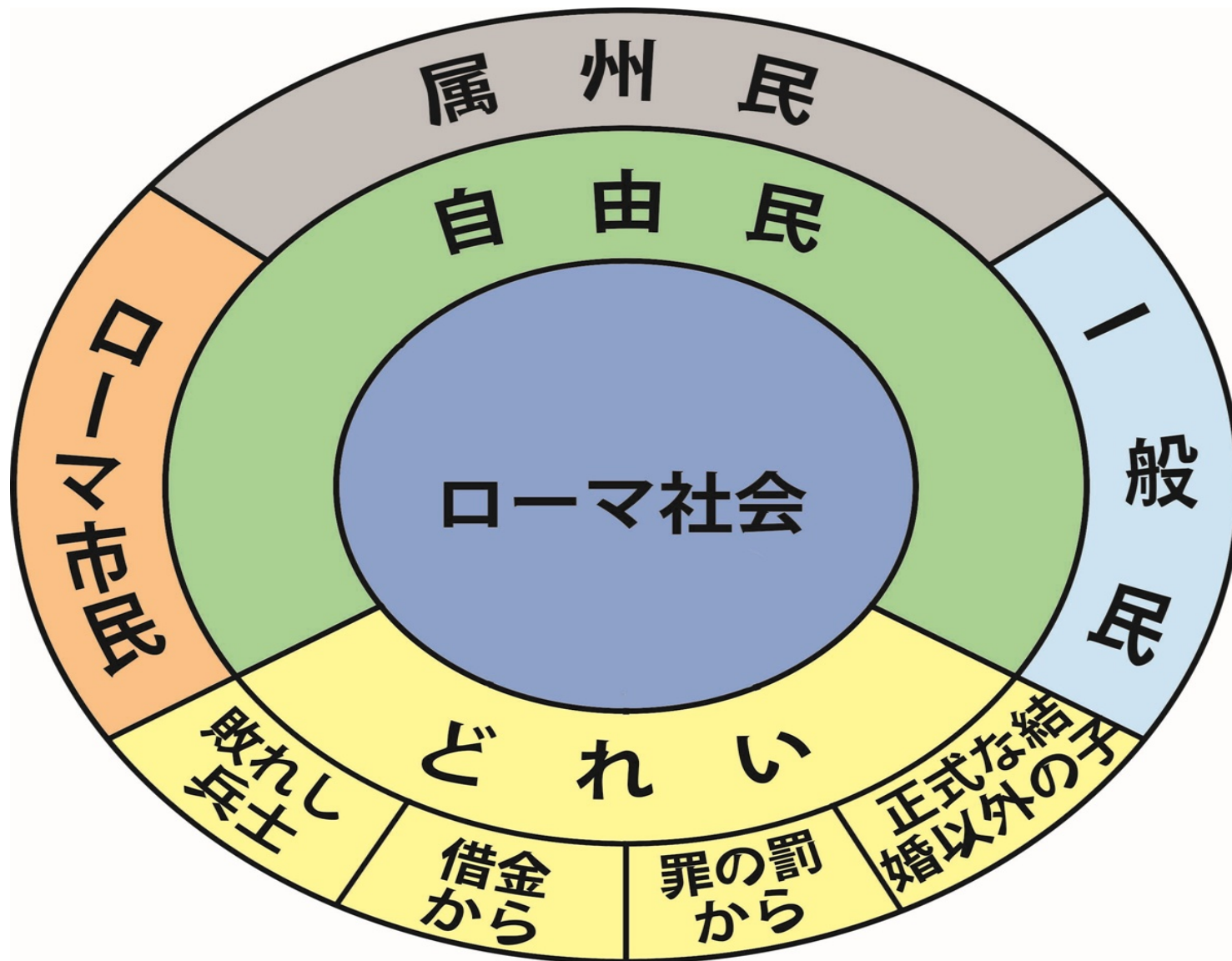
ぜんい つか  
善意をもって仕えなさい。」

しょう せつ  
(エペソ 6 章 7 節)

# A. ローマ社会での奴隷(どれい)

## 1. 奴隷にされた人々

- せんそう  
戦争に  
負けた  
へいし  
兵士
- しゃつきん  
借金  
肩代わり
- しせいじ  
私生児
- けいじばつ  
刑事罰



どれい しごと

## 2. 奴隷の仕事

- かじ  
・家事
- かていきょうし  
・家庭教師
- かていいし  
・家庭医師

- にくたいろうどう  
・肉体労働
- へいたい ほじょ  
・兵隊の補助

- こうむいん けいさつかん しょうばい  
・公務員、警察官、商売 など



どれい ちい

### 3. 奴隷の地位

つか

- ・「アンクル・トム」のようにこき使われる  
ことはない

ねんまえ

- ・20年前 までの

みなみ

さべつ すく

「南 アフリカ」のような差別も少ない

きほん てきじんけん

- ・でも、基本的 人権 はなし

どれい きょうかい

## 4. 奴隷たちと教会

きょうかい どれい よろこ あつ

- ・ 教会には奴隷たちも喜んで集まった

しんやく せいしよ どれいせいど

- ・ 新約聖書は、奴隷制度を「すぐに」  
やめなさいとは言わなかったが、

きょう ひろ

- ・ キリスト教が広まり、

せいき どれいせいど しょうめつ

4世紀ごろ 奴隷制度も 消滅

どれい しゅじん したが

## B. 奴隷は主人に従う

したが

1. 「キリストに従うように、

おそ

恐れおののいて」

ばつ

きょうふ

いけい

・罰への恐怖ではなく、キリストへの畏敬

しゅ

そんけい

ひと

ひと

そんけい

・主を尊敬する人は、人も尊敬する

ちじょう しゅじん したが  
2. 「地上の主人たち」に従う

てんごく しゅじん  
・天国では、主人はいなくなる、しかし、

ちじょう したが ちつじょかんけい  
・地上では、従うべき秩序関係  
がある

まごころ したが  
3. 「真心から」従う

じゅんすい どうき しゅじん えき  
・ 純粋な動機で：主人の益のために

おも つか  
思って仕える

・ アイ・サービス

ひと み とき はたら  
( 人が見ている時だけ働く ) ではなく

しゅ むく しん

## 4. 主からの 報いを 信じて

しゅ よ おこな むく

・主は良き 行いに 報いてくださる

ふせい むく う

・不正も、報いを受ける:

(コロサイ3:23、マタイ16:27)

とき

おこな

「その時には、おのおのその 行いに

おう むく

応じて報いをします。」

れい しょ  
5. オネシモの例(ピレモン書)

(イラスト②)

け どれい  
・ピレモン家の奴隷オネシモ:

しゅじん かね ぬす とうぼう  
主人の金を盗んで逃亡(18節)

ろうや たず すく  
・牢屋のパウロを訪ね、救われる(10節)

てつだ

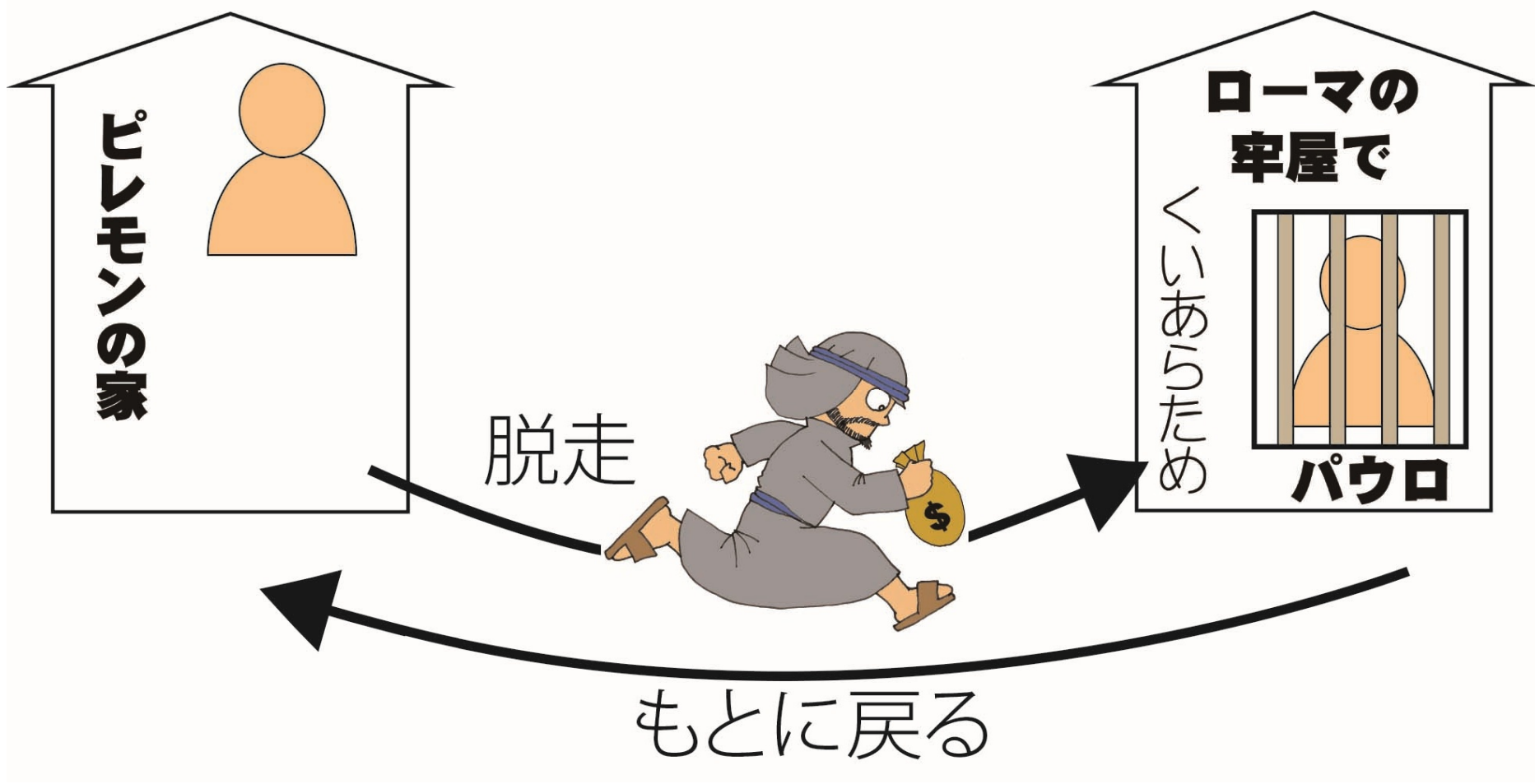
・パウロの手伝いをする(11—12節):

やくだ にんげん  
役立つ 人間に

け どれい つか けっしん

・ピレモン家で奴隷として仕える 決心を  
する





しゅじん

## C. 主人のつとめ

どれい しゅじん つか

### 1. (奴隷が主人に仕えるのと)

おな せいしん

同じ精神で

どれい よ せいしん つか

・奴隷が良い精神で仕えうるような

かんきょう ととの

環境を整える

どれい たい そんけい

はいりよ

・奴隷に対する尊敬をもって配慮する

## 2. おどかさない

ゆ す きび うら か  
・行き過ぎた 厳しさは、恨みを 買う

どれい そんけい か と  
・奴隷の 尊敬 を 勝ち取るような

こうせい ひつよう  
公正さが 必要

きょうつう しゅ あお

### 3. 共通の主を仰ぐ

へりくだ どれい しゅじん

▪ 謙り：奴隷も主人も、

しゅ あお

キリストを「主」と仰ぐ

こうへい ひと さべつ こうへい あつか

▪ 公平：人を差別しないで公平に扱う

せいぎ じぶん せいぎ

▪ 正義：自分の正義ではなく、

かみ せいぎ う い

神の正義を受け入れる

## 4. ピレモンの例(ピレモン書)

ねが

<パウロのお願い>

たい

・オネシモに対し、

じはつてき しんせつ しめ

自発的な親切を示すように(14節)

きょうだい

う い

・「兄弟」として受け入れてほしい

(16-17節)

しゃっきん

かえ

・オネシモの借金はパウロが返す

お  
終わりに

うえ た ひとびと

1. 「上に立つ」人々へ:

じぶん しゅじん

自分の主人はキリストという

へりくだ も

謙りを持とう

つか たちば ひとびと

## 2. 仕える立場の人々へ:

つか あいて ひと

仕える相手がどんな人であっても、

ひと だいにん おも

その人をキリストの代理人と想って、

こころ あい つか

心から愛し、仕えよう

すべ しんこうしゃ

### 3. 全ての 信仰者 へ:

わたし あい どれい  
私たちは キリストへの 愛の 奴隷で

おぼ しゅ たが  
あることを 覚えて、主と お互いに

つか  
仕えよう